

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和5年9月28日

【中間会計期間】 自 令和5年1月1日 至 令和5年6月30日

【発行者の名称】 デンマーク地方金融公庫 (KommuneKredit)

【代表者の役職氏名】 最高経営責任者兼マネジング・ディレクター
Jens Lundager

マネジング・ディレクター
Henrik Andersen

【事務連絡者氏名】 弁護士 黒 丸 博 善
弁護士 福 岡 大 河

【住所】 東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー23階
T M I 総合法律事務所

【電話番号】 東京(03) 6438-5511

【縦覧に供する場所】 該当なし

第 1 【募集（売出）債券の状況】

売出債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中 の償還額	当該半期末 の未償還額
デンマーク地方金融公庫 2027年7月30日満期 トルコ・リラ建 ディスカウント債券	2012年7月	2,500万 トルコ・リラ	2,500万 トルコ・リラ	0	2,500万 トルコ・リラ

2023年上半期中において、上記債券の所有者の権利等に重要な悪影響を与える事実は発生しなかった。

第2【発行者の概況】

注(1) 「公庫」とは、デンマーク地方金融公庫を意味する。

- (2) 本書中、別段の記載がない限り、「デンマーク・クローネ」または「DKK」と表示される金額はデンマーク王国の通貨であるデンマーク・クローネを意味する。2023年9月19日現在、東京の主要銀行により公表されたデンマーク・クローネに対する日本円の為替相場の中値は1デンマーク・クローネにつき21.18円であった。
- (3) デンマーク地方金融公庫の事業年度およびデンマーク王国の会計年度は暦年である。
- (4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

1【概況】

法的根拠

公庫は1898年3月19日付法律第35号により設立され、同法律は2006年5月3日付法律第383号「デンマークの地方自治体および州のための信用機関に関する法律」に置き換えられた。

2023年2月8日、商務・金融大臣は、公庫に関する新たな法律案をデンマーク国会に提出し、2023年4月18日に国会により承認された。これに従い、法律第383号は新法律（2023年4月25日付法律第405号）に置き換えられ、2023年7月1日より施行された。

新法律の下で、公庫は関連分野において他の金融機関と同様の規則を遵守しなければならない。デンマーク金融監督庁（FSA）が公庫の法令遵守を監督することになる。EU内の信用機関に適用され、預金者保護と金融の安定を目的とするEU規則から公庫は免除されているが、かかる免除は当該法律の基本的な要素としてこれまでどおり維持された。この免除の理由は、公庫の債務に対して全ての地方自治体および州が連帯責任を負うシンプルなビジネスモデルを有する特別な目的の信用機関としての公庫の地位による。

新法律に基づき、公庫は、グリーンランドおよびフェロー諸島の自治体および公営企業に対し、デンマーク国家の全額保証付きで融資およびファイナンス・リースを与えることが可能となる。当該グリーンランドおよびフェロー諸島の自治体は公庫の構成員とはならず、従って、公庫の債務を負うことはない。

グリーンランドの自治体および公営企業への融資のための国家保証に関して必要な契約条件を確保する手続きが進められており、2024年1月1日までに実施される予定である。公庫の組織内では、グリーンランドの顧客にサービスを提供する準備が整っている。

フェロー諸島は、その自治体に対して公庫の融資を利用する意向を示していない。

新法律についてのさらなる詳細については、2023年6月30日に提出された2022年度についての有価証券報告書の「第3 3(4) コーポレート・ガバナンス - 法的根拠」を参照のこと。

公庫の新定款が2023年6月8日の理事会において採択され、2023年8月7日にデンマーク金融監督庁により承認された。

2023年上半期の業績

証券からの収益の改善により、公庫は当期において資金調達コストに比して貸付価格を低く抑えることができ、利益に影響が及ぶことなく顧客の貸付コストを引き下げることができた。

収益および自己資本

2023年上半期において純受取利息は1億9,100万デンマーク・クローネとなり、前年同期と比べて400万デンマーク・クローネ増加した。

公庫は、2015年からスイス政府債券への一部の投資に対する利息への課税に関して訴訟を行っている。公庫は、スイスの第一審裁判所から公庫の請求が認められなかった旨の通知を受領したため、2023年6月

30日現在の当期税金資産について本件の価値に相当する3,700万デンマーク・クローネ減額することを選択した。

当期における管理費用は前年同期の1億1,900万デンマーク・クローネに対して1億デンマーク・クローネとなった。この減少は、前年度には3,500万デンマーク・クローネの追加の給与税に対する引当金が計上されたことによる。2023年には公庫の戦略的プロジェクトの進捗によりIT開発コストが増加し、ITセキュリティ分野におけるスタッフおよびITサポートのコストも増加した。

価値調整前および税引前の当期利益は8,700万デンマーク・クローネとなり、前年同期と比べて2,200万デンマーク・クローネ増加した。これは、2023年通期についての価値調整前および税引前の当期利益を2億1,000万デンマーク・クローネとした年初の予測に沿ったものとなった。

金融商品の価値調整は、2022年上半期には5億3,500万デンマーク・クローネであったのに対し、2023年上半期には1億5,300万デンマーク・クローネとなった。当期の価値調整は主に証券ポートフォリオからの収益の改善によるもので、これにより、公庫は当期において資金調達コストに比して貸付価格を低く抑えることができた。

包括利益は、2022年上半期には4億6,800万デンマーク・クローネであったのに対し、2023年上半期には1億8,700万デンマーク・クローネとなった。当期包括利益は持分に組み入れられるが、持分は現在99億5,300万デンマーク・クローネに達している。理事会は、資産に対する持分の比率で3%に相当する適切な資本が利益により確保されることを目標として定めている。資産に対する持分比率は4.1%で、理事会の定めた目標に沿っており、2023年についての予測と同水準となった。

リスク・エクスポージャー総額（REA）は、2022年12月31日現在では157億デンマーク・クローネであったのに対し、2023年6月30日現在は152億デンマーク・クローネに減少した。この減少は、主に当期における外国為替リスクの低下によるものであった。この結果、信用機関のソルベンシー規則に基づいて算出された自己資本比率（リスク・エクスポージャー総額に対する自己資本の比率）は、2022年末現在の62%に対して、2023年6月30日現在には65%となった。

貸付およびリース

貸付高（純額）（リースを含み、分割返済額および償還金額を控除した新規の貸付高）は、2022年上半期には34億デンマーク・クローネであったのに対し、2023年上半期には43億デンマーク・クローネとなった。

貸付およびリースの合計は、貸付高（純額）の増加と金利の動向に伴う貸付のプラスの価値調整により、2022年12月31日現在の1,750億デンマーク・クローネから2023年6月30日現在には1,811億デンマーク・クローネに増加した。

資金調達および投資

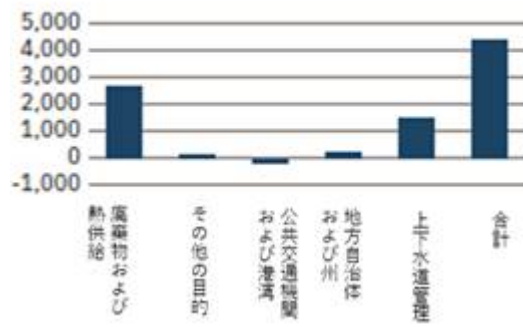
投資総額（すなわち、信用機関への債権および証券ポートフォリオ）は、2023年6月30日現在において466億デンマーク・クローネとなり、2022年12月31日現在と比べて概ね同水準であった。資金調達累計額（すなわち、信用機関への債務および発行債券）は、37億デンマーク・クローネ増加して2,117億デンマーク・クローネとなった。この増加は主に、貸付高（純額）の増加に伴うものであった。

資金調達残高の大部分は依然としてユーロ、米ドルおよびデンマーク・クローネ建てである。

資産合計は32億デンマーク・クローネ増加して2,403億デンマーク・クローネとなった。

貸付高（純額）の推移

百万デンマーク・クローネ



2【資本構成】

デンマーク地方金融公庫の資本構成

	2023年 6 月30日現在 (百万デンマーク・クローネ)
発行債券（注 1 および注 2）	211,642
デリバティブの公正価値	17,575
その他の負債、年金および税を除く負債合計	229,217
その他の負債、年金および税合計	1,110
負債合計	230,327
持分	
2023年 1 月 1 日現在の持分	9,766
税引後当期利益	187
2023年 6 月30日現在の持分	9,953
資本合計	240,280

注 (1) 指数連動債に関して、残高は指数変動による調整を含む。

(2) 外国通貨による借入は、2023年 6 月30日の実勢為替レート、あるいは2023年中の借入に関しては実行日の為替レートにより、デンマーク・クローネに換算されている。

2023年 6 月30日以降、公庫の資本構成に重大な変化はなかった。

3【組織】

2023年1月1日以降、下記の変更があった。

理事会

2023年3月31日より（辞任）：

マーティン・ギアトスン 州議会議員

2023年4月1日より（就任）：

カーステン・シェイビュー 州議会議員

経営陣チーム

2023年5月1日より：

名 前	主たる職務
イエンス・ロンエーヤ	最高経営責任者兼マネジング・ディレクター
ヘンレク・アナスン	マネジング・ディレクター
セーアン・スティーン・モーデンスン	ディレクター、貸付・リース部門長
イエッテ・モルドラップ	最高トレジャリー・サステナビリティ責任者、トレジャリー・サステナビリティ部門長
ヨーナス・トフト・モンソン	最高リスク責任者（CRO）、事業開発・リスク管理部門長
ヒリーネ・ヴィンテン	ジェネラル・カウンセル、法務部門長
モーデン・ストフテ	ディレクター、事業支援・財務部門長、最高財務責任者
イエスパ・ナアマーク・ヒーゼ	ディレクター、情報技術部門長、最高情報責任者

上記以外に、2023年上半期中およびそれ以降において公庫の組織に重大な変更はなかった。

4【経理の状況】

2023年1月1日から2023年6月30日までの期間の中間財務書類は、公庫の独立監査人であるデロイト公認会計士パートナーシップのAnders Oldau GjelstrupおよびJens Ringbæk（国家の承認を受けた公認会計士）によりレビューされ、さらに省により任命された監査役であるPer Hansenによりレビューされている。

2023年および2022年6月30日現在または2023年および2022年6月30日に終了した6か月間の公庫の中間財務書類（レビュー済）は、以下のとおりである。

2023年1月1日から6月30日までの期間についての 包括利益計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2023年 上半期	2022年 上半期
受取利息		2,418	719
支払利息		-2,227	-532
純受取利息		191	187
その他の営業利益		3	4
その他の営業費用		-7	-6
管理費用		-100	-119
価値調整前当期利益		87	65
金融商品の価値調整		153	535
税引前当期利益		240	600
当期利益課税額		-53	-132
当期利益		187	468
その他の包括利益			
保険数理上の損益		0	0
保険数理上の損益に対する税額		0	0
当期包括利益		187	468
計上先は以下の通り：			
持分への組入		187	468
合 計		187	468

2023年 6 月30日現在の貸借対照表

資 産

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2023年 6月30日現在	2022年 12月31日現在
信用機関への債権	3	335	377
貸付	3	171,086	165,652
リース		9,984	9,322
証券ポートフォリオ	3	46,279	46,591
デリバティブ	3、4	12,430	14,962
その他の資産		132	111
当期税金資産		34	37
資産合計		240,280	237,052

負債および持分

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2023年 6月30日現在	2022年 12月31日現在
信用機関への債務		3	1
発行債券	3	211,642	207,899
デリバティブ	3、4	17,575	18,221
その他の負債		557	595
当期税金負債		29	49
繰延税金負債		521	521
負債合計		230,327	227,286
持 分		9,953	9,766
負債および持分合計		240,280	237,052

2023年 1 月 1 日から 6 月30日までの期間についての持分変動計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

注記	2023年 上半期	2022年 上半期
持分		
1 月 1 日現在の持分	9,766	8,775
持分への組入		
当期利益	187	468
その他の包括利益		
保険数理上の損益	0	0
その他の包括利益に対する税額	0	0
その他の包括利益（税引後）	0	0
持分への組入合計	187	468
6 月30日現在の持分	9,953	9,243

当期包括利益は公庫の定款に従い持分（資本）に組入れられる。

持分は、2022年度末の97億6,600万デンマーク・クローネから2023年 6 月30日現在には99億5,300万デンマーク・クローネに増加した。2023年 6 月30日現在、資産合計に対する持分の割合は4.1%で、2022年度末現在と同水準であった。持分は組入れられた包括利益全体からなる。

公庫に適用される法的枠組みの下では、持分は負債合計の少なくとも1.0%（すなわち23億300万デンマーク・クローネ）に等しくなければならない。理事会の目標は、資産に対する持分の割合を公庫の活動を支えるために適切と考えられる3%に少なくともすることである。

2023年 1 月 1 日および2023年 6 月30日における持分には、200万デンマーク・クローネの再評価準備金が含まれている。

2023年1月1日から6月30日までの期間についての キャッシュフロー計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2023年 上半期	2022年 上半期
税引前当期利益		240	600
減価償却費、償却費および減損費用		1	0
支払法人税		-106	-150
合計		134	450
純受取利息		-191	-187
受取金融収益		2,418	719
支払金融費用		-2,227	-532
貸付の変動		-6,096	15,435
証券の変動		312	-2,143
発行債券の変動		3,743	-12,108
デリバティブ金融負債の変動		-647	7,896
デリバティブ金融資産の変動		2,532	-9,435
その他の資産の変動		19	-37
その他の負債の変動		-38	11
営業活動からのキャッシュフロー		-41	69
資産の購入		-3	-
投資活動からのキャッシュフロー		-3	-
財務活動からのキャッシュフロー		-	-
現金・現金同等物残高の変動		-44	69
1月1日現在の現金・現金同等物残高		376	501
6月30日現在の現金・現金同等物残高		332	570
詳細は以下のとおり：			
信用機関への預け金		335	571
信用機関への短期債務		-3	-1
6月30日現在の現金・現金同等物残高		332	570

注 記

注記１ 会計方針

一 般

本中間報告書の対象期間は、2023年１月１日から同年６月30日までである。

中間報告書は、欧州連合（EU）が採用している国際会計基準（IAS）第34号「中間財務報告」および追加的な中間報告開示要件に従い表示されている。

別途記載されていない限り、中間報告書の金額は全て百万デンマーク・クローネ単位で記載されている。記載されている合計額は、四捨五入前の実際の金額に基づき計算されたものである。金額は百万デンマーク・クローネ単位に四捨五入されているため、個別の金額の合算額と合計表示額とで多少の差額が生じる場合がある。

会計方針は、2022年度の年次報告書で適用されている方針と一致している。会計方針の全容は年次報告書を参照のこと。

会計方針の変更点

2023年事業年度以降に発効し2023年度の財務報告に影響を与えると考えられる新規のまたは改正された国際財務報告基準（IFRS）および解釈指針はない。

重要な会計上の見積りおよび判断

中間財務書類の作成において、経営陣は多くの会計上の見積りおよび判断を行う。この見積りおよび判断は、経営陣が合理的かつ現実的であると判断した仮定に基づき会計方針に従ってなされるが、これらは本質的に不確定で予測不能である。会計上の見積りおよび判断は、過去の実績および将来の状況の評価が確実に反映されるよう、継続的なプロセスによりテストおよび評価される。

公正価値の算出が市場で直接観測できないインプットに基づく場合、および反対の影響が示されない場合、会計上の見積りおよび判断は財務書類に非常に重要な影響を有するとみなされる。

特に、債券サーキットを構成しない発行債券の評価に関する見積りおよび判断は、財務書類に影響を与える可能性がある。これらの債券には活発な市場が存在せず、結果としてその評価には重要な会計上の見積りが用いられる。

一部のデリバティブの評価に用いる見積りおよび判断もまた、市場で直接観測可能な価格が存在しないことから、財務書類に影響を与える可能性がある。一般に認められているキャッシュフローモデルの観測可能なインプットで代用されている。

債券サーキットを構成しないローンの評価において、観測可能な市場が存在せず、それゆえ公庫は独自のさしあたりの貸付価格を市場価格として適用している。

その他の全ての金融商品について、その評価に重要な見積りは含まれていない。これらの商品には、活発な市場における相場価格が存在するか、または適用される見積りに重要な会計上の影響がないためである。

2022年度の年次報告書の情報と比較して会計上の見積りに変更はない。金融商品の公正価値に関する会計判断および見積りの決定のために適用される方法および原則の全容は、2022年度の年次報告書に記載されている。

注記２ 貸借対照表日後の事象

貸借対照表日後に生じた重要な事象はない。

注記3 金融商品の公正価値の詳細

IFRS第13号「公正価値測定」に従い、公正価値で測定される金融商品は、その公正価値が決定される方法および基準とするデータによって、公正価値についてのレベル1から3の階層に分類されなければならない。公正価値は、金融資産または金融負債が必要な知識を持つ自発的な取引相手との間で取引される価額である。

公正価値は、以下の階層に従い測定される。

レベル1：

同一の資産または負債についての活発な市場における相場価格。

レベル2：

類似の資産もしくは負債についての活発な市場における相場価格に基づくか、または観測可能なインプットにより実質的に基礎付けられるその他の評価手法に基づく、観測可能なインプット。

レベル3：

評価が観測可能なインプットによっては実質的に基礎付けられていない、観測不能なインプット。

レベル2およびレベル3の公正価値は、一般に認められているモデルに基づき評価される。公庫は、A)流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格、ならびにB)全ての見積りキャッシュフローおよび固定キャッシュフローをゼロクーポン・イールド・カーブ、金利の期間構造およびオプション・モデルを用いて割引引く割引キャッシュフローモデルの双方を用いている。

A) 公庫は、債券サーキットと称される発行債券および貸付の一部につき、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格を用いている。債券サーキットはモーゲージ信用残高の原則に基づいていることで特徴づけられ、公庫が発行した債券を構成する条件が債券発行により調達された資金による顧客への貸付に直接転嫁され、公庫が決定した貸付マージンが加えられる。

債券サーキットにおける証券はナスダック（コペンハーゲン）に上場されているが、債券はその取引頻度および取引量が不十分であるため非流動的である。したがって、上場市場での価格不能使用で、その代わりに、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の証券の上場市場での価格が用いられる。類似の証券とは、類似の特性を有するモーゲージ債または政府債である可能性がある。顧客への貸付に対する信用リスクは、発行債券に対応しているため、発行債券の価格は債券発行により調達された資金による貸付にも用いられている。よって、価格変動は損益に影響を与えない。

B) 公庫は、デリバティブ、非流動的とみなされる発行債券の上記以外の部分、および債券サーキットを構成しない公正価値で評価される貸付につき、割引キャッシュフロー法を用いている。

レベル2の公正価値の算出には、スワップレート、為替ベースのスワップ・スプレッド、テナー・スプレッドおよび為替レート等の観測可能なインプットが含まれている。また、発行債券の評価は公庫の実際の資金調達費用についての見積りを含む。貸付の評価には、公庫の現在の貸付価格が含まれる。公庫は、見積もられた当座の資金調達費用に応じて実際の貸付価格を定期的に調整することにより、貸付マージンを相対的に一定に保つよう努めている。実際の資金調達費用の見積りに関する感応度は、当座の貸付価格の変動により一部相殺されることになる。これによると、価値調整全体による正味の影響は最大でプラス/マイナス2億5,000万デンマーク・クローネの範囲内と考えられる。

公庫のごく一部の発行債券およびデリバティブは、公正価値レベル3に分類されている。当該レベルは、仕組債および関連するヘッジ・デリバティブに用いられており、そのインプットは、公正価値レベル2に適用されるインプットに加えて、通貨、株式およびコモディティのボラティリティならびにそれらの相関といった観測不能なインプットから成る。発行済仕組債はデリバティブによりマイクロ・ヘッジされており、よって観測不能なインプットの変動は、発行における変動がデリバティブと逆に作用するため、利益に重要な影響を及ぼすことはない。

公庫は、金融商品を利用することにより市場リスクを軽減するリスク管理戦略を追求している。この結果、レベル2およびレベル3に基づく公正価値を算出するのに用いられる見積りおよび仮定の変更による包括利益計算書および持分への影響（正味ベースでみた総額による）は縮減されており、資金調達費用および貸付価格の変動を含むにとどまる。

「金利指標改革」に関連して、「ロンドン銀行間取引金利（LIBOR）」は、代替のリスクフリーレートに置き換えられた。公庫は、フォールバック条項に関する国際スワップ・デリバティブ協会（ISDA）のプロトコルの規定により同プロトコルを適用している。利息支払いとキャッシュフローの割引のスワップレートについての変更は、公正価値の調整または収益のいずれにも重大な影響を与えていない。

2023年上半期におけるレベル間の組み替えはなかった。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

金融商品の公正価値の詳細

2023年6月30日現在

資 産

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合 計
信用機関への債権	335	0	0	335
貸付	0	171,086	0	171,086
証券ポートフォリオ	46,279	0	0	46,279
デリバティブ	0	12,193	237	12,430
資産合計	46,614	183,279	237	230,130

負 債

信用機関への債務	3	0	0	3
発行債券	0	206,840	4,802	211,642
デリバティブ	0	17,304	271	17,575
負債合計	3	224,144	5,073	229,220

2022年12月31日現在

資 産

信用機関への債権	377	0	0	377
貸付	0	165,652	0	165,652
証券ポートフォリオ	46,591	0	0	46,591
デリバティブ	0	14,706	256	14,962
資産合計	46,968	180,358	256	227,582

負 債

信用機関への債務	1	0	0	1
発行債券	0	202,845	5,054	207,899
デリバティブ	0	17,912	309	18,221
負債合計	1	220,757	5,363	226,121

(単位：百万デンマーク・クローネ)

レベル3の公正価値の詳細

2023年6月30日現在

資 産

	1月1日現在	新 規	処 分	当期利益における認識額	6月30日現在
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	256	0	-1	-18	237
資産合計	256	0	-1	-18	237

負 債

信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	5,054	0	-294	42	4,802
デリバティブ	309	0	-5	-33	271
負債合計	5,363	0	-299	9	5,073

	1月1日現在	新 規	処 分	当期利益における認識額	12月31日現在
--	--------	-----	-----	-------------	----------

2022年12月31日現在

資 産

信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	636	0	-32	-348	256
資産合計	636	0	-32	-348	256

負 債

信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	5,727	0	-344	-329	5,054
デリバティブ	250	0	-54	113	309
負債合計	5,977	0	-398	-216	5,363

注記4 金融商品の公正価値の詳細

公庫は、マスター・ネットティング契約（ISDAマスター契約）にクロス取引の支払いのネットティングについての合意が含まれる場合に、外国為替取引およびデリバティブを差金ベースで決済している。差金決済の場合は必然的に貸借対照表においてデリバティブの会計上の価額には相殺を含めることになる。相殺総額は、2022年12月31日現在で92億5,800万デンマーク・クローネであったのに対し、2023年6月30日現在では95億8,800万デンマーク・クローネとなった。

ISDAマスター契約にクロス取引の支払いのネットティングが含まれない場合、会計上の価額は相殺を含まない。相殺されていないデリバティブのネットティング金額は、取引相手ごとに算出される資産および負債のうち少額である方を上限とする。かかる金額は資産および負債の双方に含まれる。

ISDAマスター契約には、デリバティブに関連する片務的または双務的担保契約が含まれる。これらの契約に基づく受入担保および差入担保は、高格付の債券のみからなる。担保価額は取引相手ごとに算出され、債券が担保として提供される金融商品の純額を上限とする。担保契約は、通常取引のためではなく専ら倒産の場合に備えて担保の相殺を認める。担保価値に対して相殺は適用されない。

公庫は、貸付、リースまたは発行債券に関して、ネットティング契約の締結および担保の差入れまたは受入れを行っていない。このためこれらの金融商品は以下の表に含まれていない。帳簿価額は貸借対照表から引用している。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

貸借対照表において表示されたデリバティブ

	財政状態計算書上 相殺された金額			財政状態計算書上 相殺されていない金額		
	帳簿価額 総額	相殺額	帳簿価額	金融商品	担 保	純 額
2023年 6 月30日現在						
資 産	22,018	-9,588	12,430	-2,426	-9,412	592
負 債	27,163	-9,588	17,575	-2,426	-14,374	775
純 額	-5,145	0	-5,145	0	4,962	-183
2022年12月31日現在						
資 産	24,220	-9,258	14,962	-1,705	-12,540	717
負 債	27,479	-9,258	18,221	-1,705	-15,076	1,440
純 額	-3,259	0	-3,259	0	2,536	-723

注記 5 流動性資金

従前の公庫に関する法律に基づき、監督当局は、前四半期末における貸付総額の25%を限度として事前調達により流動性資金を積み立てることを公庫に対して認めていた。当期末の上限額は445億デンマーク・クローネであり、公庫の流動性資金は357億デンマーク・クローネであった。限度に対する流動性資金の割合は2023年において現在に至るまで変動しており、月末で見た場合の流動性資金の最高割合は21%であった。

流動性資金は、帳簿価額で計上された信用機関への債務、発行債券およびデリバティブから貸付およびリースの総額を控除して算出される。

2023年 7 月 1 日に公庫に関する新法律が適用となり、流動性資金の算出要件は廃止された。そのため、今後の財務報告では流動性資金に関する注記も省略される。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

流動性資金	2023年 6月30日	2022年 12月31日
信用機関への債務、発行債券およびデリバティブ		
信用機関への債務	3	1
発行債券	211,642	207,899
デリバティブ（負債）	17,575	18,221
デリバティブ（資産）	-12,430	-14,962
信用機関への債務、発行債券およびデリバティブ総額	216,790	211,159
貸付およびリース		
貸付	171,086	165,652
リース	9,984	9,322
貸付総額	181,070	174,974
流動性資金	35,720	36,185
流動性資金	35,720	36,185
前四半期末現在の貸付総額	177,818	174,586
流動性資金の割合（％）	20	21

注記6 主要な指標および財務比率

(単位: 百万ユーロ / 百万デンマーク・クローネ)

	2023年 上半期	2023年 上半期	2022年 上半期	2021年 上半期	2020年 上半期	2019年 上半期	2022年
	ユーロ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ
当期の主要な指標							
純受取利息	26	191	187	180	221	250	360
管理費用	-13	-100	-119	-68	-67	-62	-224
価値調整前当期利益	12	87	65	109	152	187	129
金融商品の価値調整	21	153	535	190	35	218	1,144
当期利益課税額	-7	-53	-132	-66	-41	-89	-282
当期包括利益	25	187	468	233	145	316	991
貸付およびリース	24,313	181,070	179,513	191,156	190,698	185,878	174,974
証券ポートフォリオ	6,214	46,279	50,530	36,745	37,609	42,181	46,591
資産	32,268	240,280	245,327	234,368	236,685	237,182	237,052
発行債券	28,418	211,642	221,784	216,970	216,443	216,451	207,899
持分	1,336	9,953	9,243	8,630	8,324	8,052	9,766
当期における活動							
貸付およびリース (額面価額の純増加額)	577	4,296	3,367	3,782	3,914	2,774	4,766
貸付およびリース (額面価額の総増加額)	2,217	16,508	16,912	19,874	23,926	17,995	28,057
発行債券 (額面価額の総増加額)	3,330	24,801	33,319	35,229	26,855	31,762	52,692

(単位：百万ユーロ / 百万デンマーク・クローネ)

	2023年 上半期	2023年 上半期	2022年 上半期	2021年 上半期	2020年 上半期	2019年 上半期	2022年
	ユーロ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ
資本構成							
リスク・エクスポージャー総額 (REA)	2,038	15,176	16,267	12,202	13,817	14,366	15,653
普通株式等Tier1 (CET1) 資本	1,336	9,953	9,243	8,630	8,324	8,052	9,766
自己資本	1,326	9,873	9,136	8,530	8,165	7,851	9,684
自己資本比率 (%)	65	65	56	70	59	55	62
資産合計に対する持分の比率 (%)	4.1	4.1	3.8	3.7	3.5	3.4	4.1
財務比率 (要約)							
貸付およびリースにおける損失	0	0	0	0	0	0	0
資産に対する管理費用の比率 (%)	0.04	0.04	0.05	0.03	0.03	0.03	0.09
資産に対する純受取利息の比率 (%)	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09	0.11	0.14
流動性資金の割合 (%)	20	20	22	15	15	18	21
正規従業員数	102	102	94	87	79	74	97

主要な指標および財務比率は、デンマークCFA (公認証券アナリスト) 協会 (CFA Society Denmark) により発行された「勧告および財務比率」に従い算出されている。

2023年6月30日現在の為替レート：100ユーロ = 744.75デンマーク・クローネ。

第 3 【外国為替相場の推移】

(1) 【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2) 【最近日の為替相場】

該当事項なし